

令和7年度 学術部業務報告

令和8年4月10日
学術部長 三福 優太

I. 令和7年度 学術部事業報告

- 第13回 四国医療リハビリテーション同窓会学術研修大会
令和8年1月：案内文発送
令和8年3月8日：研修大会開催 会員：24名 学生：26名
大会テーマ：「医療は手当て ～その手と心に巧みを目指して～」
特別講演：「上肢帯における機能解剖と臨床応用+α」
講師：医療法人社団聖心会 阪本病院 藤井 保貴 先生
- 勉強会の開催
 - 令和8年1月25日に開催 場所：ZOOM 会員：8名
内容「住宅内における危険について」
講師：個人事業 shelca 理学療法士 野田 康平 先生
 - 令和8年2月20日に開催 場所：四国医療専門学校 会員：13名 非会員：3名
内容「スポーツ復帰までの考え方」
講師：広瀬病院 理学療法士 森脇 涼平 先生
 - 第3回勉強会は非実施。代わりに同窓会学術勉強会に対してのアンケート実施。
アンケートは学術研修大会の案内文に同封。
45名返答あり。現在集計中。

II. 令和7年度 学術部決算報告

大項目	小項目	予算	支出	詳細
第13回学術研修会 運営費	講師諸謝金	50,000	50,000	—
	接待交通費	30,000	20,000	優秀学生への贈答 品（アマゾンギフト カード10,000×2）
	講師交通/宿泊費	30,000	2,580	—
	懇親会費	40,000	—	—
	施設賃借料	0	—	—
	会議費	10,000	—	—
	通信運搬費	25,000	23,375	はがき・関連書類印
	印刷製本費	150,000	82,500	刷発送費 ZOOM管理費
	消耗什器備品費	30,000	—	—
	手数料	1,000	440	振込、硬貨手数料

勉強会費	講師 諸謝金	30,000	20,000	講師 2 名
	手数料	660	440	ATM 手数料
部員行動費	—	100,000	36,660	—
雑費	—	70,000	6,600	研修大会資料印刷費、 送金手数料
受け取り利子		59	—	—
合計		566,719	242,595	残金：324,124

II.令和 8 年度学術部事業計画

①第 1 回四国リハビリテーション同窓会勉強会の開催 (9-10 月頃) 1 回/年

講師：四国医療の先生方どなたかをお願いしたい (できれば PT,OT1~2 名ずつ)

場所：ZOOM でのオンライン開催

テーマ：卒前教育、卒後教育の在り方。

臨床実習や卒前教育、卒後教育の概要などのミニ講義＋臨床実習において、悩み事や養成校・臨床現場それぞれ抱えている想いや要望などを情報共有 (質疑応答＜事前聴取方式＞や可能であればグループワークを検討)

②四国医療同窓生にむけたアンケート配布 (随時＋郵送物と同封のタイミング)

昨年度作成のアンケート結果をもとに、継続して調査。方法は Google フォームでの収集。周知方法はホームページ、LINE を活用予定。紙媒体は通年、総会・学術大会の案内資料に同封。

③録画配信・オンデマンド配信への取り組み

勉強会や学術大会の記念講演への配信化を行いたい。方法や運営にかかる費用は部会の中で検討。

具体的方法：動画 (MP4 ファイル) を URL にしてホームページ上に UP もしくは YouTube での限定公開。

④勉強会・学術大会参加率 UP のための広報活動

複数回の LINE での周知。

SNS の開設 (Instagram の開設・運用)

案内文のメール配信 (勉強会など参加していただいた先生方に同意を得て定期的に一斉メールにて案内発信)

・第 14 回四国医療専門学校同窓会学術大会

日時：R9 年 3 月 7 日予定

会場：四国医療専門学校 講堂

大会テーマ「脳卒中リハビリテーションの Up to Date (仮)」 10 月中旬頃に決定予定

特別講師：渡邊 拓 先生 (福井大学医学部附属病院 理学療法士 博士)

内容：(仮) 明日から活用できる脳卒中リハビリテーションの評価・治療介入・再発の動向や学術活動を踏まえて講演いただく予定

※12 月に学術大会の案内を同窓会員に発送予定

一般演題 目標 5 演題 一昨年は 3 演題

III.令和 8 年度学術部予算案

第 14 回学術大会運営費：¥276,000 円

勉強会費：¥20,440 円

行動費：¥100,000 円

備品等：¥50,000 円

計：¥446,440 円